

No. 598
2021年
5月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orjs.or.jp/>

会員専用ページ（マイページ）開設のお知らせ

この度、インターネットから皆様の登録内容の確認・変更や、会費納入状況の照会ができる「マイページ」を開設する運びとなりました。つきましては、下記の利用案内をご参照のうえ、ご自身の登録内容の確認と修正をお願いいたします。

■マイページへのログイン手順

- 1) 学会HP (<https://iap-jp.org/orjs/mypage/login/login>) からアクセスする。
- 2) ログイン画面に、会員番号8桁（半角）とパスワード8桁（半角）を入力してログインする。
- 3) ログイン後はメインメニューから「登録内容の確認・変更」等を選択し、ご利用ください。

■パスワードについて

パスワードは上記の手順でログインした後、「パスワードの変更」画面にて各自変更することができます。パスワードがわからなくなった場合には、ログイン画面下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。その際、メールアドレスが登録されている必要があります。

尚、個人情報の為、お電話でのパスワードのお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

■登録内容の確認・変更の際の注意

1. 住所について

住所変更があった場合、また政令指定都市への移行や市町村合併等で住所表記が変わった場合は、必ず変更をお願いします。マイページから変更される場合は、数字やハイフンは半角で入力してください。また、外字、ギリシャ数字、機種依存文字は文字化けしますので使用しないでください。

*会員情報の変更に伴い「郵送物送付先」「請求書送付先」に変更がある場合は、送付先変更も忘れずをお願いいたします。

(機関誌の郵送先変更は毎月20日までの登録修正分が有効となり、新住所へ送付されます)

2. メールアドレスについて

メールアドレスをお持ちの方はできるだけ登録いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

また、メールアドレスを登録されている方は、再度、登録アドレスの確認をお願いいたします。

今後はご登録いただいた送付先メールアドレスに、学会からのご案内をお送りさせていただきます。

3. 氏名・会員種別の変更は、マイページではできませんので、改姓や学生会員からの変更等の場合は、事務局までメールでご連絡ください。

4. 無料学生会員への機関誌送付は2020年度末で終了します。

機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費（5,000円）が必要となります。

変更を希望される場合は、事務局までご連絡ください。

*退会のご連絡は

①会員番号、②氏名、③退会理由

をご記入の上、メールにてお知らせいただけますようお願いいたします。

E-mail: jimukyoku@orjs.or.jp

● 2021年度支部紹介

*各支部の詳細はOR学会WEB「支部紹介」をご覧ください。

・北海道支部

支 部 長：鈴木輝好（北海道大学）
支部事務局：西川孝二（北海道科学大学）

・東北支部

支 部 長：古藤 浩（東北芸術工科大学）
支部事務局：金 正道（弘前大学）

・中部支部

支 部 長：柳浦陸憲（名古屋大学）
支部事務局：稲垣瑠子

・関西支部

支 部 長：滝根哲哉（大阪大学）
支部事務局：檀 寛成（関西大学）

・中国・四国支部

支 部 長：谷崎隆士（近畿大学）
支部事務局：宇野剛史（徳島大学）

・九州支部

支 部 長：宋 宇（福岡工業大学）
支部事務局：藤本品子（九州工業大学）

● 2021年秋季シンポジウム（第85回）

日 程：2021年9月15日(水)

場 所：オンライン開催

実行委員長：藤澤克樹（九州大学）

● 2021年秋季研究発表会

日 程：2021年9月16日(木)～17日(金)

場 所：オンライン開催

実行委員長：古川哲也（九州大学）

● 日本OR学会賞副賞金の改定について

2016年度表彰より副賞金の増額を決議しましたが、本措置は2021年度までの暫定としていたことから、理事会にて見直しの議論を行いました。ここ数年来厳しい財政難の状況に陥っており、緊急課題として大幅な支出削減を迫られていました。そこで、慎重な議論を経て検討した結果、2021年秋季研究発表会にて表彰される各賞より、副賞金を0円とすることが決定されました。対象となる賞は、研究賞、研究賞奨励賞、論文賞、業績賞です。なお、近藤賞については、近藤賞基金として管理されていることから、変更なしとし

ます。今後も一層の経費節減に努め、財政状況の改善が見られた場合には、再度、改定を行うこといたします。

● 公募案内

*詳細は、各機関のWEBおよび、OR学会WEB「職員公募」をご覧ください。

・中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科* 専任教員公募要領

*2021年4月1日より、「経営システム工学科」から名称変更します。

1. **公募人員**：教授または准教授1名（任期なし）
（任用時の身分は、経歴・業績等により決定します。）
2. **所属**：中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科
3. **専門分野**：IoTを用いたスマートマニュファクチャリング、スマートロジスティクス、サイバーフィジカルシステム（CPS）、拡張現実（AR）等を基盤としつつ、データサイエンスを活用した新たな研究領域を切り拓く意欲があり、国際的にも研究展開できる方。
4. **担当科目**：CPS、スマートマニュファクチャリングに関連する講義や演習、実験科目など。また、計測評価分野の実験、プログラミング演習を含む。卒業研究、PBL科目、大学院の研究論文指導を含む。また、博士課程前期課程（修士課程）の科目は英語で担当する場合がある。
5. **着任時期**：2022年4月1日
6. **応募資格**：以下の条件をすべて満たすこと。
 - (1) 博士の学位を有すること。
 - (2) 専門分野に研究業績があり、博士課程前期課程以上の研究指導ができること。
 - (3) 本公募では、業績（教育経験・研究業績・社会貢献）の評価において同等と認められた場合には、ダイバーシティ推進の観点から、女性・外国籍の方も積極的に採用します。なお、日本語を母語としない場合、業務ならびに学術研究に支障がない程度の高度な日本語能力を有することを条件とします。
7. **勤務地**：中央大学理工学部後楽園キャンパス（東京都文京区）

8. **給与待遇**：常勤（任期なし）、定年あり（70歳年度末）、給与は中央大学の規程による、社会保険（健康保険・年金等）への加入。

9. **提出書類**：以下の内容を記述した印刷物及びそれらのPDFを保存した電子媒体（CD-Rなど）を提出して下さい。

(1) 履歴書（写真貼付）

(2) 研究業績リスト（〔I〕 著書, 〔II〕 原著学術誌論文, 〔III〕 国際会議論文, 〔IV〕 レビュー, 〔V〕 招待講演などに分類して下さい。査読・審査の有無も記載して下さい。）

※責任著者（corresponding author）にアンダーラインを付すこと。

※Google Scholar Citations, ScopusなどのTOP page掲載が望ましい。

(3) 所属学会および社会における活動、国際的活動

(4) 主要原著学術誌論文の別刷10編以内（コピーも可）

(5) 主要な研究業績3件とその内容の説明（業績毎に1,000字以内）

(6) 特許等とその内容

(7) 受賞名とその内容

(8) 教育実績（担当講義歴、研究指導歴（博士修了者数など））

(9) 最近10年間の科学研究費補助金・研究助成金等の代表者としての取得状況（科研費の研究者番号も記載して下さい。）

※企業の方は、上記に代わる事業化実績等を記述してもよい。

(10) 教育・研究に対する抱負（それぞれ1,000字以内）

(11) 当方から応募者に関するコメントを求め得る方3名の連絡先（うち1名は外国人が望ましい。）

※応募書類に含まれる個人情報、選考・採用の目的以外には使用しません。

また、応募書類は原則として返却しません。

10. **選考方法**：書類審査による一次審査で候補者を選考し、候補者への面接による二次審査を行います。選考結果は決定次第、通知します。

※面接をリアルに行う場合は、来学にかかる旅費及び宿泊費は自己負担となります。

11. **応募期限**：2021年5月31日必着

12. **提出先等・書類送付先**：

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科

送付先：学科主任 教授 加藤俊一

※応募書類は「簡易書留」で、封筒表面に「教員応募書類」と朱書きの上、郵送してください。

問い合わせ先：学科主任 教授 加藤俊一

TEL: (03)3817-1925（学科準備室）

FAX: (03)3817-1943

E-mail: datascience-recruit-grp@g.chuo-u.ac.jp

13. **参考資料**：中央大学理工学部経営システム工学科ホームページ：

<https://www.indsys.chuo-u.ac.jp/>

中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科ホームページ（4月1日以降）：

<https://www.ds.r.chuo-u.ac.jp/>

（以上）

・第12回（令和3（2021）年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について

1. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野

2. 対象者

以下の①②の条件を満たす者を対象とします。

なお、推薦に当たっては、論文等の業績のみにとらわれず、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な者、経済的に困難な状況や研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして主体的に研究を進めている者など多様な観点から推薦願います。

①我が国の大学院博士課程学生（海外からの留学生を含む）であって、令和3（2021）年4月1日において34歳未満の者で、令和3（2021）年5月1日において次の1）から4）のいずれかに該当する者

1) 区分制の博士後期課程に在学する者

2) 一貫制の博士課程3年次以上の年次に在学する者

3) 後期3年だけの博士課程に在学する者

4) 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制博士課程に在学する者

②大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる者

3. 受付期間

令和3(2021)年5月27日(木)～6月1日(火) 17:00
(締切)

4. 授賞等

本会が設置する選考委員会において16名程度選考し、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈します。

5. 推薦権者

1) 我が国の大学の長(大学長推薦)

推薦数: 人社系, 理工系, 生物系各1名, その他に分野を問わず1名の計4名まで

2) 我が国の学術団体(日本学術会諸協力学術研究団体に限る)の長(学会長推薦)

推薦数: 1名まで

※自薦・個人推薦は受け付けません。

6. 問い合わせ先

独立行政法人日本学術振興会人材育成事業部研究者養成課「日本学術振興会育志賞」担当

TEL: 03-3263-0912 E-mail: ikushi-prize@jpsps.go.jp

本事業ウェブサイトURL: <https://www.jpsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

・慶應義塾大学理工学部管理工学科/大学院理工学研究科開放環境科学専攻

・【公募1(経済分野)】

募集人員: 准教授, 専任講師, 専任講師(有期), または助教(有期) いずれか1名。(准教授, 専任講師の場合は任期無し。最長雇用期間は専任講師(有期)の場合は5年間, 助教(有期)の場合は3年間)

専門分野: 経済(様々な組織の経営や, それを取り巻く社会に関する課題解決に対し, 経済学的な分析を基盤としつつも, 管理工学・経営工学的な視野に立って数理・計量的なアプローチにより研究・教育ができる人材)

着任時期: 2022年4月1日

応募締切: 2021年6月18日(金)(必着)

問合せ先: 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1

慶應義塾大学理工学部 管理工学科主任 鈴木秀男
E-mail: shunin@ae.keio.ac.jp

詳細は, 次の大学Webサイト, JREC-INをご参照ください。

大学Webサイト: https://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/20210322_01.html

JREC-IN: https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121031233&ln_jor=0

・【公募2(情報科学分野)】

募集人員: 専任講師, 専任講師(有期), または助教(有期) いずれか1名。(専任講師の場合は任期無し。最長雇用期間は専任講師(有期)の場合は5年間, 助教(有期)の場合は3年間)

専門分野: 情報科学(情報科学を基盤とし, 共生インタラクションや自律・汎用AI, IoT, データサイエンス, 計算社会科学など, Society 5.0の先を見据えた次世代AI実現に向けた研究開発を, 多様な異分野連携の下, 管理工学・経営工学的視点から現場問題解決を視野に入れつつ, アクティブに研究・教育ができる人材)

着任時期: 2022年4月1日

応募締切: 2021年6月18日(金)(必着)

問合せ先: 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1

慶應義塾大学理工学部 管理工学科主任 鈴木秀男
E-mail: shunin@ae.keio.ac.jp

詳細は, 次の大学Webサイト, JREC-INをご参照ください。

大学Webサイト: https://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/20210322_02.html

JREC-IN: https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121031234&ln_jor=0

● 協賛・後援案内

* OR学会が協賛・後援するイベントの情報です。詳細は主催者へお問い合わせください。

・公益社団法人精密工学会 第414回講習会「製造現場でのIoT活用術—今日から始めるひと工夫—」

日時: 2021年5月24日(月)～2021年5月30日(日)

詳細URL: <http://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/414.pdf>

● 新入会員(2021年4月理事会承認分)

—正会員—

小澤 陽介 村田機械(株)
山田 昭雄 NEC

廣田 正之	Classi(株)	林 多希与	静岡大学 (中部支部)
石津 直幸	イントロン株式会社	加納 伸一	筑波大学
宇田川 佑介	(株)構造計画研究所	市川 大幹	公立諏訪東京理科大学 (中部支部)
石井 康貴	Classi(株)	野口 宇宙	筑波大学
石川 竜一郎	早稲田大学	片桐 優帆	中央大学
池田 伸太郎	東京理科大学	小松 真裕	早稲田大学
齋藤 溪	神奈川大学	徐 逸凡	東京工業大学
水田 浩之	釧路公立大学 (北海道支部)	北嶋 弓月	中央大学
池田 弘	富士通研究所	寺澤 眞之介	中央大学
藤本 晶子	九州工業大学 (九州支部)	津村 大悟	中央大学
楠田 浩二	滋賀大学 (関西支部)	羽田 充宏	大阪大学 (関西支部)
堀 淳志	九州工業大学 (九州支部)	植田 和樹	大阪大学 (関西支部)
Siva Rama Krishna Prasad	Coimbatore Institute of Technology	西村 康一	東京工業大学
		岩田 知旺	名古屋大学 (中部支部)
		松浦 汐里	法政大学
		田中 達也	京都大学 (関西支部)
		杉浦 知樹	名古屋大学 (中部支部)

—学生会員—

菊池 明飛	長岡工業高等専門学校 (東北支部)
張 家豪	広島大学 (中国四国支部)
桑原 大樹	東京理科大学
難波 禎人	東京理科大学
黒田 祥太	東京理科大学
頼 志堅	筑波大学
村田 真一	大阪大学 (関西支部)

—賛助会員—

(株)エルデシュ

* 支部表記のない方は本部所属です

2021年度第1回ORセミナー『量子コンピュータと次世代計算機活用』

開催趣旨: 量子コンピュータや量子アニーリングマシンを開発・活用する企業の方を講師にお招きし、ハードウェアの仕組みや、最新の話題、活用事例についてご紹介いただきます。

日時: 2021年6月7日(月) 12:30~17:20 (12:15~ Zoom入室可能、接続テストを行います。)

会場: Zoomによるオンライン開催 (申込でご登録のメールアドレスへZoom接続情報をご連絡いたします。)

コーディネーター: (株)日立製作所 野本多津

司会: (株)NTTデータ 矢実貴志

定員: 90名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

12:30~12:40 **開会の挨拶**

九州工業大学 大輪拓也

12:40~13:40 **セッション1「AWSのフルマネージドな量子コンピュータ Amazon Braket」**

講師: アマゾンウェブサービスジャパン(株) 宇都宮聖子

Amazon Braketは、AWSで簡単に量子コンピュータのコーディングをスタートできるフルマネージドな量子コンピュータサービスです。Amazon Braket Python SDKを使って、IonQ, Rigetti, D-Waveといった量子ハードウェアQPUにアクセスすることができます。本セッションでは、Amazon Braketの特徴と、クラウドによる量子コンピュータ提供によって期待される展望をお話します。

13:50~14:50 **セッション2「NECにおける量子コンピューティング技術開発」**

講師: 日本電気(株) 白根昌之

NECは1999年に世界で初めて固体素子量子ビットの動作実証に成功して以来、20年以上にわたり超伝導量子コンピューティングの研究開発を継続しています。本発表では、NECの量子アニーリングマシンを含む世界のHW開発状況に加え、NEC製ベクトル機によるシミュレートドアニーリングマシンの組合せ最適化課題への適用事例を紹介いたします。

15:00~16:00 **セッション3「量子アニーリングと数理最適化の融合」**

講師: (株)シグマアイ 大関真之

量子揺らぎを用いた組合せ最適化問題の解法として量子アニーリングが注目を集めています。その実現を果たした量子アニーリングマシンも大規模化が進み、実問題への適用が期待されるフェーズに突入しています。ただこれまでの数理最適化手法も活用することで、より多くより正確により速く問題を解く方法が開発されています。最近提案された手法を紹介することで数理最適化との融合可能性について議論いたします。

16:10~17:10 **セッション4「万能量子コンピュータを用いた量子化学計算・物性シミュレーション」**

講師: (株)QunaSys 中川裕也

万能量子コンピュータの産業応用先として最も注目されている分野の一つである量子化学計算・物性シミュレーションについて紹介します。特に、この数年で急速に大規模化・高精度化が進みつつあるNoisy Intermediate-Scale Quantum (NISQ) デバイスという種類の量子デバイスを用いた計算アルゴリズムに関して詳しく述べます。講演では、量子化学計算・物性シミュレーションの基礎となる量子系のシミュレーションという問題を解説し、それが万能量子コンピュータやNISQデバイスを用いてどのように効率的に解けるのかを紹介します。

17:10~17:20 **閉会の挨拶**

NTTデータ先端技術(株) 中川慶一郎

参加費 (電子テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円。 ※参加費の返金には応じられない旨、ご了承ください。

※紙テキストをご希望の方は、印刷製本・発送の費用をご負担いただくことで対応いたします。

申込および支払方法: OR学会WEB「ORセミナー」<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>からお申し込み・お支払いください。

申込および支払締切: 2021年5月14日(金)

協賛学会 (交渉予定): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsripim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

お知らせ: 非会員と学生非会員の方がご参加いただいた場合の入会特典は、終了させていただきました。

問合せ先: OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

2021年度年会費納入のお願い

2021年度（2021年3月1日～2022年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。支払取扱票は、2021年1月以降もご使用可能です。

請求書が必要な場合は、必要事項（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）、請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）をメールにて事務局へご連絡ください。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月です。

年会費の口座振替日変更のお知らせ

年会費自動振替の方は2021年2月22日(月)に引き落とししました。

2021年3月で卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、メールにて事務局へご連絡ください。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
シヤ）ニホンオペレーションズリサーチガッカイ

郵便振替口座 00190-6-79492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）
当座 0079492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担でお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。
*所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費(5,000円)が必要となります。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

OR学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100 FAX: 03-3851-6055

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*各種変更はマイページをご利用ください。変更できない項目や退会届はメールにてご連絡ください。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。